

実習感想

医師として医療現場で働き始めて 2 年が経ち、今回は地域医療の連携の実際を体験させていただきました。訪問診療の現場を体感するのは初めてでした。

まず感じたことは患者さんの年齢層の広さでした。10 代～100 歳代まで非常に幅が広くそれぞれに対応した知識と対応が必要になるのだなと感じました。また、私が漠然と思っていたイメージよりもはるかに地域に密着した現場でありました。

私が研修させていただいた症例では認知症の高齢者もいれば、悪性腫瘍にかかって緩和ケアを導入されている 14 歳の男の子がいました。その中でもやはり 14 歳の男の子が私の印象に残りました。ご本人は侵襲的な処置にも我慢し、ご家族も少しでも患者本人が快適に過ごせるようにと懸命にサポートされていました。こういった場面はこの一年間の研修では見たことがありませんでした。医療機関から離れたあとの患者さんの生活に密着できました。また、できる検査や処置が限られている中で、できる限り患者さんやそのご家族に寄り添い支えておられる高橋先生をはじめひばりクリニックのスタッフの皆様を尊敬する思いです。

今回の研修を経て、私が全く知らなかった医療の現場や形を知ることができました。今後私はどういった道を進むかはわかりませんが、今回見聞きしたことは必ず今後の力にしていきます。貴重な体験をさせていただき、誠にありがとうございました。今後とも何かの折にはどうぞよろしく願いいたします。